沿革

1969.12 **ユニバーサルリース株式会社**　ジュークボックスのリース業を目的として設立

1970. 7 遊技機の製造を開始

1971.10 社名変更

株式会社ユニバーサル

1975. 9 栃木県小山市に新工場を建設、各種ゲームマシンの製造を開始

1980. 3 栃木県小山市に新工場を建設（小山第二工場）、風俗営業業界の回胴マシンへ進出

1988. 4 鳥取県米子市に工場を取得し、アミューズメント機の生産を開始

1973.6 販売部門が分離独立

ユニバーサル技研株式会社

1975.5 社名変更

ユニバーサル販売株式会社

1979.12 開発部門が分離独立

ユニバーサルテクノス株式会社

1993.4 合併

1998. 4 東京有明に本社移転。ユニバーサルテクノス株式会社とユニバーサル販売株式会社が合併し、アルゼ株式会社に社名変更

アルゼ株式会社

1998. 9 株式を店頭公開

1999. 8 千葉県四街道市に新工場を建設（現パチスロ・パチンコ遊技機製造工場）

2000.10 ARUZE USA, INC.（現連結子会社）の株式取得

ARUZE USA, INC.がValvino Lamore, LLCに出資

2002. 9 Valvino Lamore, LLCの全保有株式をWynn Resorts, Limitedへ現物出資

2004.12 ジャスダック証券取引所に株式を上場

2005. 3 米国ネバダ州ゲーミングコミッションが、Wynn Resorts, Limitedの100％子会社であるWynn Las Vegas, LLCのカジノ運営ライセンスおよび、当社がWynn Resorts, Limitedの株主として適格性を有していることを承認

2006. 7 米国ネバダ州におけるゲーミング機器製造者ライセンス取得（無期限更新可能）

2008. 6 委員会設置会社へ移行

8 フィリピンにおいてカジノリゾートを運営するためのプロビジョナルライセンスを取得

2009.11 社名変更

株式会社ユニバーサルエンターテインメント

2010. 3 フィリピンにおいて、当社グループのカジノリゾートプロジェクト「マニラベイリゾーツ」が経済特区認定を受けるとともに、カジノ事業の外資規制も解除

4 大阪証券取引所とジャスダック証券取引所の合併に伴い、大阪証券取引所JASDAQに上場

6 監査役会設置会社へ移行

2012. 1 マニラベイリゾーツプロジェクト着工式を開催

2013. 7 東京証券取引所と大阪証券取引所の統合に伴い、東京証券取引所JASDAQ（スタンダード）に上場

10 箱根に岡田美術館を開設

2014. 6 中国国立劉海粟美術館と岡田美術館が姉妹提携

2016. 3 サミー株式会社と合弁会社「株式会社ZEEG」設立

7 フィリピンにおけるカジノリゾートプロジェクトの正式名称を「OKADA MANILA」に決定

12 OKADA MANILAのカジノ運営許可証を取得
カジノ運営を開始

2017. 3 OKADA MANILAに世界最大級のマルチカラー噴水「ザ・ファウンテン」完成

12 OKADA MANILAに巨大ガラスドーム施設「Cove Manila」オープン

2018.12 OKADA MANILAのタワーA完成

2019. 7 カジノ関連機器による自動為替交換システム「Multi Currency System」および
カジノスロットマシン専用顧客優遇システム「Slot Program Play System」をリリース

2021.11 OKADA MANILAのタワーB完成

2022. 4 東京証券取引所の市場区分の見直しに伴い、東京証券取引所JASDAQ（スタンダード）から
東京証券取引所スタンダード市場へ移行